

参考資料 2

2018年10月3日付けで、日本野鳥の会滋賀（代表 河村則英）より、知事あて、以下のとおり要望書が提出されました。

（仮称）余呉南越前ウィンドファーム発電事業に対する要望書

平成30年8月24日付で計画段階環境影響配慮書の縦覧のありました、株式会社グリーンパワーインベストメントが、滋賀県長浜市余呉町中河内から福井県南条郡南越前町八飯にかけて計画中的、風力発電施設建設事業“余呉南越前ウィンドファーム発電事業”は、周辺生物への影響が心配されるため、事業者に対する知事の意見を述べられる際には、下記の危険性に配慮して頂きますようお願いいたします。

記

1. イヌワシのバードストライクの危険性

建設予定地域は、現在イヌワシの生息域の中心ではないとされていますが、施設の建設で周辺の稜線部が開発され、イヌワシの狩場となる可能性が高いです。

飛来の頻度が増え、バードストライクの可能性が高まると考えられます。

このことは、建設前の環境影響調査でははかり知ることができません。現在湖北地域のイヌワシは数つがい程度と極めて絶滅の可能性が高く、これ以上数を減らす原因となるリスクを高めることは認められません。

これは、クマタカについても同様であると考えられます。

2. 渡り鳥のバードストライクの危険性

計画地域は、ツグミ類、ホオジロ類など渡りの小鳥類のコースに当たります。これらの鳥類は夜間に山の稜線部を飛ぶことが多く、発電施設へのバードストライクの危険性が高いと思われます。小鳥類の渡りは主に夜に行われ、環境影響調査では結果として出にくいことが考えられます。